

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	111	事業名	ロケーション誘致・支援推進費		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	はこだてフィルムコミッション関係経費		中事項	ロケーション誘致・支援推進費		部課名	観光部コンベンション推進課
事業開始年度	平成 16 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(はこだてフィルムコミッション規約)		電話番号	21-3326	

1. 事業の目的・必要性和内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 函館市の豊富な自然, 異国情緒あふれる街並みや歴史的文化遺産などの優れた資源を活用し, 映像を通じて函館の魅力を伝え, 地域のイメージアップと活性化を図るため, 映画, テレビなどのロケーションを誘致, 支援することを目的としている。なお, 関係経費は, プロモーション旅費およびはこだてフィルムコミッション負担金から構成されている。
	【必要性】 ロケーションの誘致は, 制作時の地域への直接的経済効果だけではなく, 函館市で撮影された映像がテレビや映画のスクリーンで流れることにより, 観光宣伝にも多大な効果をもたらすものであり, 観光入込客の増加や, 地域の映像文化の振興など多くの効果が期待できることから, これまで同様, ロケーションの誘致を行うとともに, ロケーションに対する各種支援にも積極的に取り組むべきものと考えている。
内容	ロケーションの誘致については, これまで, フィルムコミッション担当者が映画会社やテレビ局を訪問し, 映像関係者に対し, 函館市で撮影を行っていただけるようPRに努めてきたところである。また, ロケーションに対する各種支援については, ①ロケ地情報の提供, ②シナリオハンティング, ロケーションハンティングの同行, ③許認可申請の協力, ④宿泊施設や関連業者の紹介, ⑤エキストラの手配など, きめ細やかな支援を行ってきたほか, 函館で撮影が行われた映画が上映される際には, ロケ地を観光資源としてPRすることを目的として宣伝協力も行ってきたところである。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		473	408	423	408	423	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		473	408	423	408	423	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため, 実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 1.20 9,558	人工 1.20 9,010	人工 1.20 8,689	人工 1.20 8,689	人工 1.20 8,748	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	人件費(B)	9,558	9,010	8,689	8,689	8,748	0
総事業費計(A+B)		10,031	9,418	9,112	9,097	9,171	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
映像関係者へのプロモーション	件	19	18	2	
撮影支援	件	112	86	119	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない
------	-------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	ロケーションの誘致による直接的な経済効果については、撮影の規模にもよるところがあるが、テレビなどの媒体で函館市が取り上げられ、映像として流れることによる間接的な宣伝効果は、極めて高いものと考えている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	コスト・負担	コストの節減度	節減できている
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在と変わらない
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	受益者負担の適正度	評価対象外
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる		外部委託の可能性	しづらい性質の事業
実施方法の効率性		ロケーションの誘致により、特に間接的な宣伝効果が高いと考えており、事業を行うことによる成果は十分達成しているものとする。		図られている(今後も更に改善可能)	
評価結果から明らかになった課題事項など	映像関係者へのプロモーションの成果が、ロケーション誘致に繋がっていないところがあることから、今後、有効な手法を検討する必要がある。				

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) 現行どおり継続する。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	○中核市の状況について(フィルムコミッションの活動に係る年間予算) 函館市 473千円 最高額 12,926千円(横須賀市) 最低額 50千円(宮崎市) ※平成25年度、高知市で中核市を対象に調査した結果による。
----------------------------	--